かわごえ 議会だより

Kawagoe town council

令和7年6月定例会

議会の要旨、あらまし …… 2
常任委員会 Q&A、町の施設 …… 3
区長会と議会との意見交換会 …… 4
一般質問（7議員） …… 5～11
まちの元気な人 …… 12

No.185
令和 7年8月1日発行
三重県川越町議会

第2回　6月定例会

令和７年第２回定例会は、６月５日から13日までの9日間の会期で行われた。初日は、７人の議員が町長、教育長に対して一般質問を行い、続いて町長より議案10件の提案があり、審議後、７件を原案同意、可決した。議案３件は、各委員会に付託され、審査することとなった。

最終日には、各委員会に付託された案件３件を全て原案可決した。

議案のあらまし（全会一致）

※付託先欄　㊢…総務建設常任委員会　㊦…教育民生常任委員会　即…本会議即決

区分	議案番号	議案名／あらまし	付託先	議決結果
令和7年度補正予算	議案第44号	**一般会計補正予算（第1号）** 6，481万5千円を追加し、予算総額を99億8，481万5千円とする。	㊢・㊦	可決
	議案第45号	**下水道事業会計補正予算（第1号）** 収益的収入及び支出において、それぞれ330万円を追加し、収入の総額を9億9，584万3千円とし、支出の総額を9億8，867万4千円とする。	㊢	可決
条例改正	議案第46号	**川越町税条例の一部改正について** 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	㊢	可決
その他	議案第38号	**監査委員の選任について** 山下卓司（川越町当新田）※任期は４年	即	同意
	議案第39号	**工事請負契約の変更について** 「高松公民館長寿命化改修工事」の変更で、契約金額を77万9，900円増額する。	即	可決
	議案第40号	**工事請負契約の変更について** 「北福崎公民館長寿命化改修工事」の変更で、契約金額を60万5，000円増額する。	即	可決
	議案第41号	**工事請負契約の締結について** ●工事名　川越町役場庁舎機械設備及び直流電源装置等改修工事 ●契約方法　一般競争入札 ●契約金額　12億8，150万円 ●契約相手方　藤原工業株式会社 ●概要　川越町役場庁舎の個別施設計画に基づき、空調機器及び直流電源装置等を改修するもの。	即	可決
	議案第42号	**工事請負契約の締結について** ●工事名　川越中学校建設工事（発電設備工事） ●契約方法　一般競争入札 ●契約金額　1億1，105万6千円 ●契約相手方　株式会社第一電気工業 ●概要　現在建設中の川越中学校の建物に、太陽光発電設備と非常用発電設備を設置するもの。	即	可決
	議案第43号	**工事請負契約の締結について** ●工事名　川越幼稚園空調設備改修工事 ●契約方法　一般競争入札 ●契約金額　5，434万円 ●契約相手方　株式会社後藤パイピング ●概要　川越幼稚園の空調設備のうち、平成17年3月に竣工した建物に設置する空調設備について機器を更新するもの。	即	可決
	議案第47号	**川越町道の路線の認定について** 町道として新たに認定を行うもの。（高松地内）	即	可決

区分	議案番号	議案名／あらまし	付託先	議決結果
報告	報告第4号	**例月出納検査の結果報告について** 一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・水道事業会計・下水道事業会計　令和7年2月分・3月分・4月分	―	―
	報告第5号	**議員派遣の報告について** ○令和7年度町村議会議長・副議長研修会	―	―
	報告第6号	**令和6年度川越町繰越明許費について** 価格高騰対策低所得世帯支援給付金事業	―	―
	報告第7号	**令和6年度川越町下水道事業会計予算の繰越について** 公共下水道川越排水機場建設工事委託に関する協定（その3）	―	―

常任委員会Q&A

◆総務建設常任委員会

◎議案第44号、令和7年度川越町一般会計補正予算（第1号）【質疑なし】

◎議案第45号、令和7年度川越町下水道事業会計補正予算（第1号）【質疑なし】

◎議案第46号、川越町税条例の一部改正について【質疑なし】

◆教育民生常任委員会

◎議議案第44号、令和7年度川越町一般会計補正予算（第1号）

Q　がん検診を四日市市に委託をするということだが、診療所ではやらないのか。

A　昨年まで胃がん検診と肺がん検診と腹部超音波検診を診療所で受けるという体制をしていたが、医師が替わったことで、胃がん検診について四日市医師会の医療機関を選択できるという方法に変わる。診療所でも胃がんと肺がんと腹部エコー検査は実施していく。

Q　今ある機器はそのまま使うのか。

A　そのまま使っていく。

◇審査の内容及び結果

各委員会に付託された案件は、慎重審査を行い、全てを原案のとおり可決すべきものと決した。

〈町の施設　その2〉

○北部浄化センター

・愛称：水のリサイクルセンター
・住所：川越町亀崎新田80―2
・電話：365―3181
・供用市町：四日市市、桑名市、いなべ市、東員町、菰野町、朝日町、川越町
・処理能力：18万9千㎥／日最大
・処理方法：標準活性汚泥法及び嫌気、無酸素、好気法＋急速濾過法
・汚泥処理方法：脱水後、搬出処分
・処理後放流先：四日市港

当町では昭和57年度から汚水整備事業に着手し、北部浄化センターの供用開始に併せ昭和63年1月に高松と天神地区の一部で供用を開始した。下水道普及率は平成14年度末現在で99・8％となり本町のほぼ全域で利用できるようになった。

令和4年度末の整備率（人口比）は、7市町で94％になった。

当センターは施設見学ができる。平日の営業時間内に電話で予約が必要。見学は、平日の午後1時から午後5時まで。所要時間は約1時間30分。

またセンター内には、テニスコート、グランドゴルフ場がある。

〈下水道に流してはいけないもの〉

①てんぷら油（食用油）
②野菜くずや食べ残し
③水洗トイレにトイレットペーパー以外の紙類
④有害・有毒・危険物（ガソリン、シンナー、アルコール類など揮発性や引火性の高い洗剤など）
⑤田の除草や稲取り作業で出た草や藁などを用水路、排水路に流さない

自治功労者表彰規程などの表彰規程の内容を見直す考えは

今後近隣自治体の状況を参考とし、検討していく（町長）

▼動画はこちら

早川茂樹 議員

問 川越町自治功労者表彰規程は、その内容や運用については、社会の変化や多様化した貢献の在り方に合わせて見直しが求められる点が多くあるように思うがいかがか。

答 町長
今後近隣自治体の状況を参考とし、検討していく。

再 委員会などを設置して定期的に検証してはどうか。

答 総務課長
現在のところ委員会を設置する考えはない。

再 国や県から表彰を受けた方々なども対象に町からの感謝状を渡してはどうか。

答 企画情報課長
広報紙等で紹介することで、功績に対して敬意を表することとしている。

自治功労者表彰の模様

再 もっとホームページやLINEなどの媒体を利用して広報してはどうか。

答 企画情報課長
今後ホームページ等多様な媒体で広報していきたい。

戦後80年、昭和100年という節目でどのように平和教育を次世代に受け継いでいくのか

県の平和啓発動画を、当町の原爆パネル展で特集展示をするとともに、広報からも啓発する（町長）

問 今年は戦後80年である。昭和100年である。当町として戦争教育・平和学習を今後どのように継承し、伝えていく考えか。

答 町長
県の平和啓発動画を、当町の原爆パネル展で特集展示をするとともに、広報からも啓発する。

再 戦没者追悼式はどのように継承していくのか。

答 福祉課長
将来的な実施方法等の在り方については、遺族会とも意見交換を行いながら検討していきたい。

公共Wi-Fiをより利便性の高い利用環境を整備する考えは

セキュリティー対策に努め、現状の運用を継続していく（町長）

問 公共WiFiのログインの手順や運用方法を見直し、より利便性の高い利用環境を整備する考えは。

答 町長
セキュリティー対策に努め、現状の運用を継続していく。

再 現在当町の、Wi-Fiの運用は。

答 企画情報課長
メールやSNSで利用者認証。1回60分。1日24回まで。以上は全施設同じ。

再 災害時の運用は。

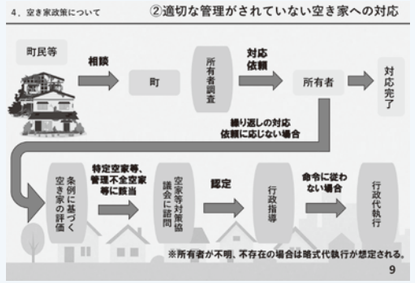
答 企画情報課長
災害発生時には、多くの方にご利用いただくため、認証登録が不要となり、1回の接続は15分となる。

【思い】
当町のWi-Fiについて、他の先進地で実施されているように、平時であっても自動で接続され、時間制限のない運用に変更をし、利用者に対する利便性を高めてもらいたいと願う。

区長会と議会との意見交換会

７月15日川越町区長会と空き家対策の現状と行政DXの現状について意見交換の場をもった。

【空き家対策の現状について】



各地区が把握する空き家と町の把握する空き家について更に情報交換の必要性を各区長および議員双方が認識した。

区からは、地域の課題として管理不全で近隣の住宅からの苦情などの対応に苦慮している実情があり、対応をどのようにすれば良いかなどの意見があった。

【行政DXの現状について】

地区の取り組みとしては、現在当新田地区で電子回覧板を導入しており現在100名ほどの登録があり運用が行われている。

紙ベースのものも並行して回覧しているが、電子回覧板の普及拡大を図り順次切り替えて行くということであった。

他地区においては、役員間の連絡にLINEの使用が行われているケースが多くあった。

初期導入費や高齢者の利用普及をいかに図るかに各地区苦慮している。

寺本清春議員に感謝状贈呈

三重県町村議会議長会会長及び、全国町村議会議長会副会長の退任にあたり、寺本清春議員へ、それぞれ感謝状が贈呈されました。

水道管の耐震化の現状と今後の取り組みは

口径150㎜以上の管を主要な管路と位置付け、順次耐震化と老朽管の布設替えを進めている(町長)

稲塚利夫 議員

▼動画はこちら

問 当町の水道管路の延長は現在106㎞余で、現状値から、5年後には管路全体の約27％、10年後は約44％が法定耐用年数の40年を経過する。町では布設替えをどのような計画で行っているのか。

答 町長
口径150㎜以上の管を主要な管路と位置付け、平成27年度から管種、区域、布設年度を考慮し順次耐震化と老朽管の布設替えを進めている。令和10年度末の目標値は耐震適合率約39・4％、耐震管率約38・1としている。

再 南海トラフ巨大地震で当町は最大震度6強の強い揺れと、全域で液状化の発生が予測されており、消防車や給水車の活動が限られることも考えられる。消火栓は、強い揺れの地震で発生する火災の消火に有用であり、飲料水の給水拠点にもなり得るが、基準により口径75㎜以上の配水管への設置が必要である。町は消火栓に繋がる配水管の耐震化をどのように考えているのか。

答 上下水道課長
口径75㎜の管は布設延長が最も長く、相当な期間が必要となるため、口径150㎜以上の管や避難所等重要施設までの管の耐震化を着実に進めたい。

耐震管敷設状況

再 直近10年間で配水管の漏水は21件発生している。耐用年数を超えた管の漏水はその内4件（19％）で、管の老朽化と漏水箇所の相関性はあまり見ることはできない。町は管路の劣化状況、漏水リスクのある個所の把握をどの様に行っているのか。

答 上下水道課長
町内に設置した流量測定機器による調査を活用。
また、町内を北部・中部・南部に分け、月1回道路パトロールと合わせ目視による漏水調査を実施。

再 主に漏水発生後に有効だが、漏水防止の事前策ではない。本年2月、政府は漏水発生前に管路の劣化度調査や漏水箇所の絞込みの効率的手法として人工衛星やAIを点検等に積極活用する方針を決めている。AI等を活用する新手法は、既にいくつかの県内自治体が採用し、実績もある。当町の管路は5年後、10年後に老朽化が急速に進むため、布設替えや漏水対策を効率的に行い、災害に強いライフラインとする必要がある。こうした新手法の活用について当町の考えは。

答 上下水道課長
AIを活用した漏水調査も昨今有効な手法とされており、費用対効果を踏まえ検討していきたい。

問 水道管路施設の更新財源をどの様に考えているのか。

答 町長
財源の中心は水道料金だが、料金改定の負担を軽減するため、年間投資額の半分の額は地方債の借り入れを行っている。また、自立した事業運営を目指しつつ、一般会計からの繰入金による基準内での財政支援や国庫補助金の活用を検討するなど、安定した事業運営を行っていく。

【思い】
管路調査にAI等の活用は、管路の耐震化や布設替えを効率的に行ううえで必要である。また、口径150㎜以上の配水管から消火栓までの耐震化は消火栓設置についての法制の背景もあり町行政で進めていただきたい。

給水本管漏水

複合施設を建設する考えは

建てるという意思はある（町長）

柳川平和 議員

▼動画はこちら

問 第7次総合計画も後半になり、中学校も令和9年3月には供用開始という段階になってきた。長年据え置きになっている複合施設建設を計画するのであれば、そろそろ立ち上げなければいけないと思うがどうか。

答 教育長
平成27年度に開館を目指して進めていた川越町図書館等複合施設は、工事費高騰のあおりを受け、見合わせることになった。その後、川越町公共施設等総合管理計画に基づき、中学校の建設やその他の各公共施設の改修を進める必要もあり、引き続き見合わせを継続している。工事に要する財源の手当てや平準化を図り、そうしたことを考慮しながら見合わせを継続するか否かも含めて検討していく。

複合施設イメージ

再 建てるという前提がないことには何も始まらない。町では建てるということを決めているのか。

答 町長
順番から行くと公共施設の長寿命化、改修工事が平準化してそれが終わるくらいにはやっていきたい。全然やる意思がないことではない。

小学校のランドセルを軽めのリュックにしては

学校にランドセルを使用する決まりはない（教育長）

問 登校風景を見ていると低学年の子たちは大きなランドセルを背負って辛そうだ。最近はタブレットも入っていてかなり重い。他の市町では、ランドセルの代わりにリュックをもっていく学校がある。リュックのメリットが多ければリュックの利用を検討してはどうか。

答 教育長
南北両小学校に必ずランドセルを使用する事という決まりはない。ランドセルのメリットもいろいろあるがデメリットは高価だということだろう。近年ではランドセルに変わる軽めのリュックが多数出てきている。多様性が叫ばれる昨今、当町としてはランドセル以外を選択することを排除することはない。

再 ランドセルは高額で保護者にとってはかなりの負担になる。当町の毎年の小学校入学生徒の人数は、大体150人くらいだ。軽めのリュックは1万円前後が多い。来年度から小学校新入学生に軽めのリュックを町から贈ったらどうか。

答 教育長
町がリュックを贈ることは考えていない。当町では就学支援制度ということで低所得者の方には入学に当たって支度金のような形で補助をしている。その辺りを理解してほしい。

祭りの祭車など、高額修理が出た場合、補助の考えは

補助対象とするかどうか審議の上、必要な場合には予算計上を考えている（教育長）

杉本雅照 議員

▼動画はこちら

問　川越町には無形民族文化財として、天神、豊田、豊一の3地区で石採祭、高松で足上げ祭、当新田、亀須で稲熱（いもち）があり、後世に継承しなければならないと思っている。石採祭の場合、祭車の新造や金額のかさむ修理など、各地区、環境整備事業基金を使って維持してきた場合もあるが、その基金も分配を終えた今、今後、高額修理などが発生し、地区だけで対処できない場合等、祭りを継承、存続していくため、補助等、町として何か考えがあるか。

答　**教育長**
現在、当町では、文化財を保存し、後世への継承を図るため、川越町文化財保護条例等に基づき、町内6つの祭事を無形民俗文化財に指定している。

当該文化財が存する各地区において、その風習を継承していくため、各地区から選ばれた地区行事の祭りなどに詳しい方を川越町文化財調査委員会の委員として任命し、委員会の中で修繕費に係る補助の可否について検討している。

補助金については、予算の範囲内において、祭事や祭礼用具の復元修理などに係る経費に関しては2分の1の補助、また、ばちなどの一部消耗品に関しては2分の1の補助で上限3万円となっている。また、大きな修繕が見込まれる場合は、事前に相談をしてもらい、予算に反映させているので、現在のところ予算を超えて補助が必要となった事例はない。しかしながら、やむを得ず必要となった場合には、他市町等の補助制度の状況も勘案しながら委員会において補助対象とするかどうか審議の上、必要な場合には予算計上を考えている。

また、祭礼に関連する補助として、国の補助制度や民間の助成制度などを活用することができる場合もあるので、各地区に紹介をしたり、その際には、申請書類の作成等については協力しており、今後も引き続き無形民俗文化財の保存、継承について取り組んでいきたい。

高松足上げ祭

【思い】
私も天神で中老、区の役員として長年、石採祭に携わり、神様に感謝、祈願はもちろん、地域のお年寄りから子どもまでのつながりも含め、町外へ出ている人も祭りの時、帰省して参加したり楽しんだりと、大切な役割を果たしており、地域の歴史や伝統を後世に伝えるという大切なものなので後世まで守っていきたい。

子どもの視力低下の実態と対策は

増加傾向。子どもたちが目を大切にする気持ちが持てるよう、家庭と連携し取り組んでいく。（教育長）

森本恵幸 議員

▼動画はこちら

問　全国的に子どもの視力低下が深刻な問題となっている。

当町の子どもの視力低下の現状は。

また、学校や家族における対応は。

答　**教育長**
日本における裸眼視力1・0未満の子どもの割合は約40年前と比較して増加傾向にある。現代はスマートフォンや家庭用ゲーム機などが多く普及している現状もあり、子どもたちの視力低下については教育委員会としても危惧している。当町においては、30％で約3割の児童が、中学校においては55・2％で約半分以上の生徒が視力1・0未満の結果である。対応については、小学校は年2回、中学校は年1回の視力検査の実施。小学校は「疲れた時の目の体操」、「30分に1回は遠くを見る」など、それぞれの学校が工夫しながら指導を、中学校においては生徒自身でドライアイのチェックを行っている。家族に対しては、「ゲーム機などの使用時間短縮」など、決め事について呼びかけを行っているところである。

再　5年前、10年前と比較すると、視力低下が見られる子どもの割合は。

答　**学校教育課長**
小学校においては、増加したり減少したり、その年の結果が異なっている。中学校においては年々視力低下が見られる子どもの割合が増加している。

再　欧州などSNSの利用制限の取り組みが行われているが、我が国の取り組みは。

答　**学校教育課長**
学校への携帯電話の持ち込みは原則禁止となっている。

カスタマーハラスメントの警戒と安全対策は

学校も子どもたちや教職員を守るための対応や準備が必要と考える。（教育長）

問　学校に不満を持った保護者の知人が教室内に侵入して、教師に暴行を働く事案が発生しているが、教職員に対する保護者からの過度な苦情や不当な要求に対する対応マニュアルはあるか。暴言や暴力等に対する研修や訓練はされているか。また、児童たちにどのような指導をしているか。

答　**教育長**
現在、学校において対応マニュアルはない。しかし常にチームとなって相談したり、対応に当たったりすることを心掛け、実践している。研修や訓練は適宜、実施している。不審者が学校に侵入した場合、児童がどのような動きをすれば良いのか、教師はどのような対応すればよいのか、常に検証しながら訓練を行うこともある。

再　小・中学校には何本のさすまたを常備しているか。また、さすまたを使った訓練も必要と考えるがいかがか。

答　**学校教育課長**
現在、小・中学校には2～3本ずつ常備している。さすまたを使った訓練も行ったこともある。これからは警察にも指導や助言を要請していきたい。

さすまた

田んぼダムで雨水貯留、集中豪雨対策は

片山庄平 議員

▼動画はこちら

川越町地域農業再生協議会などで紹介、周知させていただく。（町長）

問 田んぼダムを利用する事により調整池を補助し、集中豪雨時には浸水軽減効果が見込まれる事から、集団転作として小麦を生産している田んぼを休耕田となる5月末から10月末ぐらいまでを田んぼダムに利用しては。

答 町長
この取り組みは個人が所有する農地を利用する事や、せき板の設定作業など地権者や耕作者の協力、地域全体での取り組みが必要。地域農業再生協議会などで紹介、周知させていただく。

再 県内で田んぼダムに取組んでいる地区数は。

答 産業建設課長
（次表参照）
合計で20地区。

四日市市	1地区
鈴鹿市	2地区
伊賀市	3地区
津市	10地区
松阪市	2地区
紀北町	2地区

再 田んぼダムへの補助金制度は。

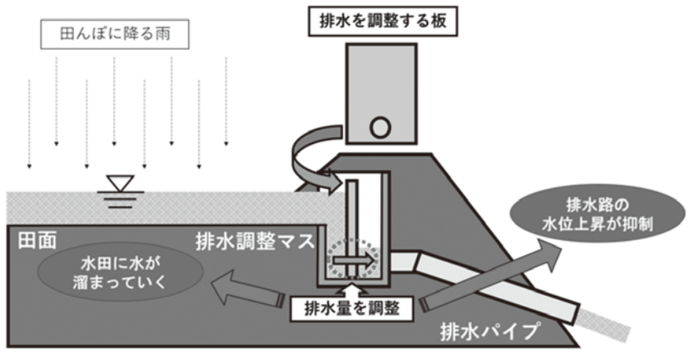
答 産業建設課長
対象農地が農業振興地域か農用地での適用であるため、適用外。

再 川越排水機場による雨水排水処理範囲は当町朝明川から北部と上流域である朝日町の一部を除く大半である。（田んぼ面積、調整区域は川越町31万㎡、朝日町71万㎡）
両町で対応すれば大きな雨水貯留となり調整池を補助することになる。このような観点から川越町の上流域である朝日町にも田んぼダムを周知してみては。

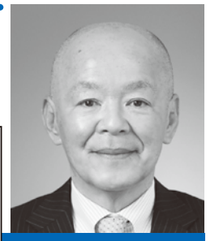
答 産業建設課長
当町において田んぼダムを実施することとなれば朝日町にも紹介していきたい。

※田んぼダムとは、水田の排水口（尻水口）に排水量を抑制するマス（排水調整マス）を設置し、水田に降った雨水を一時的に貯めることで、排水路や河川への排水を緩やかにする取り組み。台風などの大雨の際には、田んぼダムによって、河川の急激な増水が抑えられることから、河川溢水による浸水被害を軽減することができる。

田んぼダムの仕組み



朝明川河口部の堆積土砂撤去ならびに高松海岸保全は



寺本清春 議員

▼動画はこちら

高松海岸の保全は県に要望していく（町長）

問 「朝明川河口部の堆積土砂撤去ならびに高松海岸保全の提言書」
河口部の堆積土砂の撤去は3年間で完了の予定だが、高松海岸の保全はどのようになるのか。

答 町長
高松海岸は希少生物の宝庫であることから、関係団体の意見も聞き、県に要望していく。

朝明川河口

聖籠町・川越町の民間交流に向けた取り組みは

人的交流を中心に両町で話し合いを進める（町長）

問 「新潟県聖籠町・三重県川越町の友好交流都市協定に基づく町民間の交流促進の実現に向けた提言書」
聖籠町3校・川越町2校が3年間、両町小学校、学校教育課の協力のもとリモート交流を進めてきた。
今後、人的交流となれば事業化や予算化が必要と思うがいかがか。

答 町長
人的交流・オンライン交流など、聖籠町の意向も尊重しながら進める。

再 5月23日に両町議会運営委員会で、リモート会議を行い、人的交流の実施への共通認識をした。来年度からの実施に向け検討を進めていただきたい。

答 企画情報課長
人的交流を中心に、来年からの実施にむけ聖籠町と協議・検討を行なっていく。

リモート会議の様子

フロントヤード改革、住民と行政との接点の改革は

令和9年度当初の事業開始を目指す（町長）

問 「川越町役場、フロントヤード改革、住民と行政との接点の改革推進の提言書」
川越町DX推進計画に基いて、窓口業務のデジタル化に向けた窓口体験調査など、システム導入による改善策の検討に入っていると聞いている。導入に向けたタイムスケジュールは。

答 町長
「書かない窓口検討委員会」で町の方針を決める。その中で、令和8年度のシステム標準化の進捗を見据え「書かない窓口」のシステム等の整備を行い、令和9年度当初より事業を始めたい。

再 高齢者も含め、デジタルに不慣れな方へのサポート、きめ細かい窓口サービスの提供が必要と思うが。

答 企画情報課長
導入の際には、職員が説明にあたるなどサポートを行い、きめ細かいサービスの提供に努める。

まちの元気な人

高松地区 松寿会グラウンドゴルフ愛好会

神社の境内でグラウンドゴルフを楽しむ

神聖なイメージが強い、神様を祀る神社の境内において、恒例のグラウンドゴルフが開催されています。

日頃は、高松児童公園にてプレーしていますが、7月の一か月間は八幡神社の境内に移動し、それぞれの腕を自慢し競技に夢中のようです。

境内は公園と違い、木陰が多く涼しいと好評で、皆が林間コースを楽しんでいます。そして、夏の風物詩「蚊」の対策にも余念がないようです。

神社では、4月は「お花見」8月は「カブト虫のプレゼント」また、お盆の14日には、川越町無形民俗文化財「足上げ祭」という特異な神事が行われます。

これからも高松八幡神社でグラウンドゴルフを楽しんでいただきたいと思います。

高松地区　山田勝久

議会・議員スケジュール　※任意の活動も含みます

職務(○印　開催)	月 7	8	9
議会			○
全員協議会			○
議会運営委員会		○	
総務建設常任委員会			○
教育民生常任委員会	○	○	○
決算特別委員会			○
議会広報特別委員会	○		○
議員協議会	○	○	○
環境クリーンセンター議会(柳川、早川、稲塚)		○	
環境クリーンセンター監査(早川)	○		
朝明広域衛生組合議会(森本、片山)		○	

職務(○印　開催)	月 7	8	9
三重郡老人福祉施設組合議会(寺本清、杉本)	○		
監査(寺本由)	○	○	○
都市計画審議会(森、杉本、柳川、松岡、森本、稲塚)	○		
川越町子ども・子育て会議(稲塚)	○		
食育推進協議会(稲塚)	○		
子ども議会関連	○	○	
川越町健康づくり推進協議会	○		
地域包括ケア会議(稲塚)		○	
総合計画審議会(森、松岡、稲塚)	○		
区長会との意見交換会	○		
下水道審議会(稲塚、森本、松岡)		○	

編集後記

7月・8月は、夏祭りで町内に活気がみなぎる時期です。祭りは地域で人と人との繋がりを強め、地域力を高める良い機会でもあります。暑さ対策もいただきながら、多くの人と接し、地域の絆を強めていただきたいと思います。

今回より新広報委員で議会だよりを編集させていただきます。議会だよりは町民の皆さまと議会の架け橋であり、委員一同力を合わせ、読み易く親しまれる紙面づくりに努めてまいります。皆さまのご意見をお待ちしています。

稲塚利夫（記）

新広報特別委員会メンバー

委員長　森本恵幸
副委員長　稲塚利夫
委員　杉本雅照
委員　柳川平和
委員　松岡正敬
委員　片山庄平

お知らせ　令和7年 第3回 定例会予定

月	火	水	木	金	土	日
9/1	2	3	4 本会議(開会)	5	6	7
8	9 午前 総務建設常任委員会 午後 教育民生常任委員会	10	12 決算特別委員会	11	13	14
15	16	17 本会議(閉会)	18	19	20	21

議会を傍聴してみませんか。傍聴することで町政への知識を深め、町議会の活動を知ることができます。また、本会議当日は、役場1階ロビーのテレビにて、議会の模様をライブ配信しています。

また、本会議（開会）の日には託児を実施しています。事前予約が必要ですので、8月28日までにこちらのQRコードからお申込みください。

発行　三重県川越町議会　〒510-8588　三重県三重郡川越町大字豊田一色280
編集　議会広報特別委員会　TEL059-366-7150　FAX059-366-2221
Eメール　k-gikai@town.kawagoe.mie.jp
ホームページ　https://www.town.kawagoe.mie.jp/